

令和3年度中心商店街及び食と観光に関する業種へのヒアリング結果

【目的】 豊後高田市の中心商店街と食と観光に関する業種への事業所を対象に聞き取り調査を行う。これは昭和の町が商業と観光の一体化を目指し、どのようなお客様がどの程度の割合で来られているのかを調査し、目安として個々の事業に活用するために行う。

調査期間	令和4年1月24日（月）～令和4年2月14日（金）
調査対象	中心商店街（昭和の町）にある事業所及び食と観光に関する業種の事業所
調査数	27事業所
調査項目	売上高、前年比増減率、純利益、年間来店客数、客層（男女比、年代比）、仕入先市内外割合、販売方法（市内外割合）、広報、区分（法人・個人）、業種、従業員数、役員数
調査手法	経営指導員並びに経営支援員他による事業所への訪問調査

▶今回の調査結果の公表に際して

各調査にご協力いただいた事業所の情報で、個々の事業所が特定されることの無いよう配慮し公表する。各項目における数字は平均値とし、項目によっては未回答もあり数からは除外した。小数点第2位を四捨五入。

調査結果の集計

①平均年間売上高 1,793.3万円

②売上高増減率（対前年度比） 17.4%増加

③平均年間純利益 200.4万円

④平均来店客数 年間：7,390人 月間：615.8人 週間：141.7人
1日：23.6人（週6日営業として）

⑤来店者男女比 女性52.4% 男性47.6%

⑥来店者年代比 20代以下：11% 30代：17% 40代：14%
50代：18% 60代：21% 70代以上：19%

⑦仕入先市内外比 市内から仕入れ：33% 市外から仕入れ：67%

⑧販売方法比率

- a.店頭店舗 79.1% (内訳、市内客65% 市外客34%)
- b.卸売り 2.0% (内訳、市内取引先60% 市外取引先40%)
- c.移動販売 2.2% (内訳、市内販売0% 市外販売100%)
- d.ネット販売 3.6% (内訳、市内販売0% 市外販売100%)
- e.その他 13.1%

⑨広報の利用媒体（複数回答）

- a.新聞 無し b.テレビ 1事業者 c.ラジオ 無し d.雑誌 1事業者
- e.専門誌 1事業者 f.フリーペーパー 7事業所 g.ポスター 6事業所
- h.看板 10事業所 i.ネット広告 無し j.ポスティング 無し
- k.ホームページ 6事業所 l.ブログ 無し m.フェイスブック 8事業所
- n.インスタグラム 10事業所 o.LINE 4事業者 p.mixi 無し

⑩調査先の区分

個人事業所 21事業所 法人事業所 6事業所

⑪業種

飲食業 12事業所 食品小売 4事業所 菓子製造小売 4事業所
宿泊業 1事業所 雑貨・靴小売 2事業所 家電小売 2事業所
呉服販売 1事業所 酒小売 1事業所

⑫平均従業員数

正社員 1.6人 パート・アルバイト 2.1人
上記の内、家族従業員数 1.7人

⑬平均役員数（法人事業所のみ）

2.3人

○経営指導員のコメント

- ・年間平均売上高は昨年と比べると267.7万円増加している。
- ・売上高増減率で対前年度比を「減少」で答えた事業所が27事業所の内18事業所、「横ばい」が5事業所、「増加」で答えた事業所は4事業所であった。
減少と答えた事業所の減少率は小さくなっているため、回復傾向であることが読み取れる。
- ・平均年間純利益は昨年と比べると113.2円も増加している。平均年間純利益が200.4万円は、12ヶ月で割り、月当たり平均16.6万円の収入だった。
- ・来店客数は、8.2%増加した。男女比については、男性客の割合が前年に比べ6.2%増加していた。
- ・来店者の年齢層は、前年度と差がみられなかった。前年同様、年齢層は高めであった。
- ・仕入先の域内比率も前年と同様であった。
- ・販売方法に関しては、昨年同様、主に商店街を調査したこともあり、店頭店舗での率が以前高いが、4.1%ほど減少している。卸売りの割合が3.5%減少していることと、その他の項目では、顧客からの電話注文により商品を配達する事業所が増えていた。
- ・広報の利用媒体であるが、フリーペーパーの利用が大きく伸びた。また昨年と同様にフェイスブックやインスタグラムの利用が多い。あと、LINEでの広報が4事業所あり、利用が増えている。

以上の結果を踏まえ、今後の経営指導に活かしていきたい。

最後に、ご回答しにくい調査項目があったにもかかわらず、今回の調査に快くご協力いただきました事業所の皆様、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

令和4年2月25日作成

豊後高田商工会議所